

20 既存のスラリー施設を利用した回分式汚水浄化処理システム

キーワード	スラリーストア、回分式汚水浄化処理
担当	宮崎牧場 種畜第一課
連絡先	電話：0984-23-3500 ファックス：0984-24-0953 電子メール：nlbc_miyazaki@nlbc.go.jp

1 背景・ねらい

「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」に基づき、畜産農家には家畜ふん尿の適切な処理が義務づけられています。

しかし、家畜ふん尿処理施設の設置は多額の経費を要することから、経営に大きな影響を及ぼすものと考えられます。特に、酪農経営や養豚経営における汚水浄化処理は、規模拡大が進展していることもあって多額の経費負担が必要となっています。また、スラリー施設の利用は、畜産農家と非畜産農家の混住化が進展するに伴って敬遠されつつあります。

そこで、既存のスラリー施設を回分式汚水浄化処理施設に改造する工夫を考案しました。

2 内容・特徴・効果

当场では、豚舎に附設されていたスラリー施設を回分式汚水浄化処理施設に改造しました。具体的には下図のとおり、沈砂槽の次の工程に固形物を除去するための振動篩を設置し、スラリーストアを回分式曝気槽に改造し、放流水を滅菌するための滅菌槽を設置しました。なお、施設の稼働は、タイマーによる全自動システムにしています。所要経費は約390万円でした。

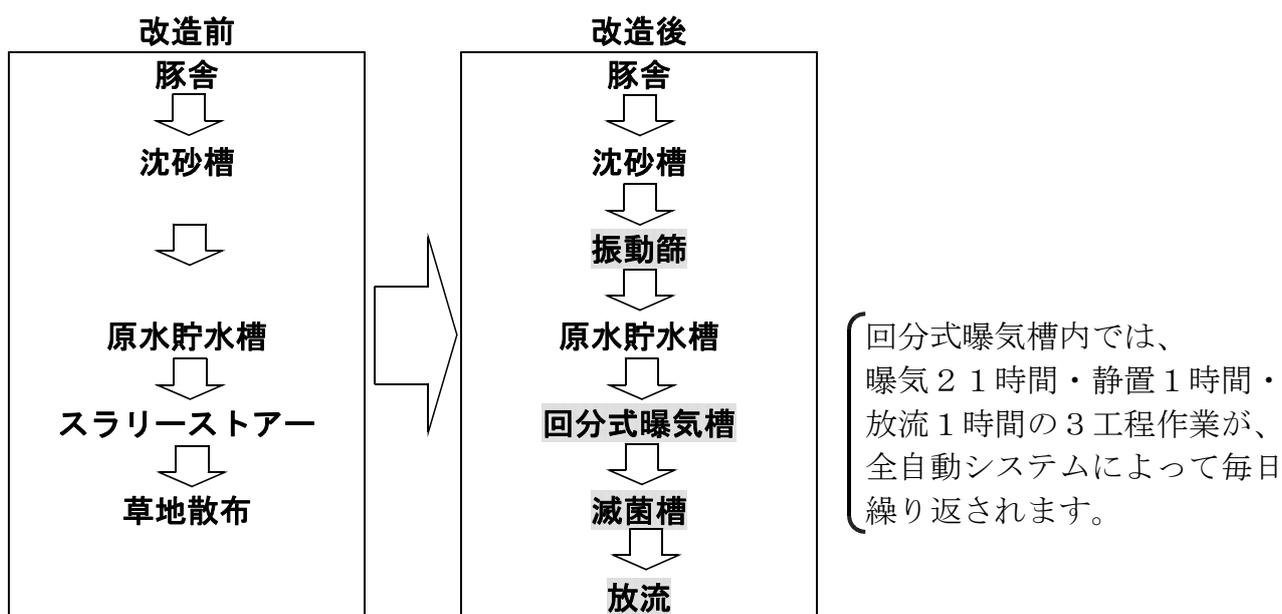




写真1 振動篩



写真2 改造した回分式曝気槽



写真3 滅菌槽



写真4 全自動システム制御盤

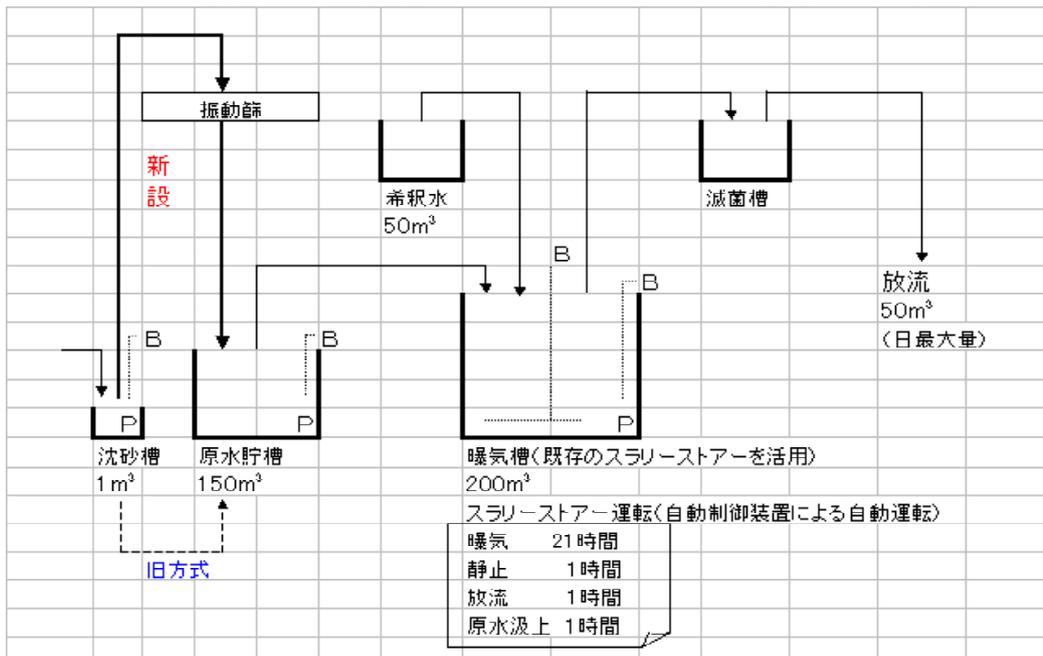


図1 システムのフローチャート

Bはブロワ、Pはポンプを意味する。